

平成 29 年 11 月 吉日

薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記
薬剤部 小泉 祐一

平成 29 年 10 月 20 日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

アメナリーフ錠 200mg (皮膚科) 【院外限定】

薬効 : 抗ヘルペスウイルス剤

申請理由 : ヘリカーゼ・プライマーゼ複合体阻害薬。既存の核酸類似体とは作用機序が違うため交差耐性がない。既存薬で効果不十分な場合でも一定の有効性が期待できる。おもに糞中に排泄、腎機能に基づく用量調節は不要。用法も 1 日 1 回服用で簡便。

採用中止薬剤 : なし

モーラスパップ XR240mg (整形外科) 【院外限定】

薬効 : 経皮鎮痛消炎剤

申請理由 : 本剤「20cm × 14cm」であり、モーラスパップ XR120mg 「10cm × 14cm」、モーラステープ 20mg 「10cm × 7cm」。本剤は腰部等の広範囲の患部に対して 1 枚で対応できる。シップ 70 枚制限があり、不足する患者へも対応できる。

採用中止薬剤 : なし

② 区分変更医薬品

【院外限定】 → 【本採用】

- ・コソプトミニ配合点眼液 (眼科)
- ・ボシュリフ錠 100mg (血液内科)
- ・エンブレル皮下注 50mg ペン 1.0mL (リウマチ膠原病科)

【科限定】 → 【本採用】

- ・フロシール 5 mL (脳神経外科)

【患者限定】 → 【院外限定】

- ・クロミッド錠 50mg (産婦人科)

③ 剤形変更医薬品

(整形外科)

- ・リリカカプセル 25mg → リリカ OD 錠 25mg
- ・リリカカプセル 75mg → リリカ OD 錠 75mg

④ 供給停止について

カロナール細粒、アルビニ一坐剤について供給制限されます。

⑤ 年末年始の処方日数制限について

新医薬品、麻薬、向精神薬については、特殊の事情である場合に限り、1回30日分を限度として投与することが認められている。特殊な理由であったとしても30日以上は投与できない。

「年末年始、処方日数14日分が限度の薬は、処方日数が30日分まで緩和」

年末年始の解釈：12月29日から1月3日

⑥ 麻酔科派遣時の麻薬について

麻酔科派遣時について麻薬オーダーは各科、主治医対応。

残液が発生した場合は、通常の入院麻薬と同様、残破棄の指示をお願いします。

⑦ 治験

JTZ-951 第Ⅲ相臨床試験

目的：腎性貧血を伴う維持血液透析患者を対象とした長期投与時の安全性および有効性の検討

治験デザイン：非盲検、非対照、個体内用量調節法

投与期間：52週間（364日）

責任医師名：西川 慶一郎 先生

契約症例数：5例

⑧ メーカーパンフレットについて

薬剤師が下記のパンフレットを患者へ渡し、患者家族から苦情の連絡が入る事象が発生しました。

メーカーPanフレットを使用されるときはご注意ください。